

名古屋市感染症発生動向調査情報

2019年(平成31年)第15週(4月8日~4月14日)

名古屋市感染症情報センター(名古屋市衛生研究所疫学情報部) 2019年4月17日作成

<http://www.city.nagoya.jp/kurashi/category/15-7-3-3-0-0-0-0-0-0-0.html>

◆本市の状況

〔麻しん〕

- 本市における第15週(4月8日~4月14日)の麻しんの患者報告数は0人で、2019年にはこれまでに9人の麻しん患者が報告されています。また、全国の麻しんの累計患者報告数は382人(第14週まで)になり、昨年を上回っています。
- 麻しんは空気感染をし、その感染力は非常に強いと言われており、感染期間は発症1日前から解熱後3日後とされています。
- 予防はワクチン接種で、MRワクチンの定期予防接種が1歳(第1期)と小学校入学前年度(第2期)に行われています。

〔風しん〕

- 本市における第15週(4月8日~4月14日)の風しんの患者報告数は0人で、2019年にはこれまでに11人の風しん患者が報告されています。また、全国の風しんの累計患者報告数1202人(第14週まで)になりました。
- 風しん患者の中心は30代から50代の男性であることから、2022年3月31日までの間に限り、昭和37年4月2日から昭和54年4月1日までの間に生まれた男性が、風しんに係る定期の予防接種の対象者として追加されました。
- 詳しい実施方法については、市公式ウェブサイト(<http://www.city.nagoya.jp/kenkofukushi/page/0000087308.html>)等をご覧ください。

〔定点把握感染症の発生動向〕

- インフルエンザの定点当たり患者報告数は、前週の0.9人から1.1人に増加しました。
- 感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は、前週の3.6人から4.0人になりました。過去3年の同一週の平均との比較では1.5倍多い報告数になりました。
- A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり患者報告数は、前週の0.8人から1.0人に増加しました。

〔1類～5類全数把握感染症の届出〕

診断週	感染症の分類	疾患	発生数	発生の概要
2019年 第15週	2類	結核	9	<ul style="list-style-type: none"> ・男性、80歳、結核性胸膜炎 ・女性、67歳、結核性胸膜炎 ・男性、65歳、肺結核 ・男性、23歳、肺結核 ・男性、66歳、肺結核 ・女性、92歳、肺結核 ・女性、66歳、無症状病原体保有者 ・女性、4歳、無症状病原体保有者 ・男性、1歳、無症状病原体保有者
2019年 第15週	5類	急性弛緩性麻痺	1	<ul style="list-style-type: none"> ・女性、14歳、病原体不明
2019年 第15週	5類	後天性免疫不全症候群	2	<ul style="list-style-type: none"> ・男性、46歳、無症状病原体保有者、感染経路：性的接触（同性間）、感染地域：国内 ・男性、38歳、無症状病原体保有者、感染経路：性的接触（同性間）、感染地域：国内
2019年 第15週	5類	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1	<ul style="list-style-type: none"> ・女性、94歳、菌検出検体：血液
2019年 第15週	5類	侵襲性肺炎球菌感染症	1	<ul style="list-style-type: none"> ・男性、1歳、菌検出検体：血液
2019年 第15週	5類	梅毒	6	<ul style="list-style-type: none"> ・男性、42歳、早期顕症梅毒（1期） ・男性、43歳、早期顕症梅毒（1期） ・男性、43歳、早期顕症梅毒（1期） ・女性、34歳、早期顕症梅毒（2期） ・女性、35歳、無症状病原体保有者 ・女性、26歳、無症状病原体保有者
2019年 第15週	5類	百日咳	2	<ul style="list-style-type: none"> ・女性、40歳、検査方法：抗体の検出、感染地域：名古屋市 ・男性、14歳、検査方法：抗体の検出、感染地域：名古屋市

※ 感染経路、感染原因、感染地域については、確定あるいは推定として記載されていたものを表示。

（報告数はその後の訂正などにより、変更される場合があります）

報告日が遅れたため先週号までに掲載されなかった 1 類から 5 類全数報告感染症。

診断週	感染症の分類	疾患	発生数	発生の概要
2019年 第14週	2類	結核	1	・男性、34歳、結核性胸腹膜炎
2019年 第14週	5類	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1	・男性、56歳、菌検出検体：その他、菌種： <i>S. marcescens</i> 、感染原因：手術部位感染
2019年 第14週	5類	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1	・男性、93歳、菌検出検体：血液
2018年 第46週	2類	結核	1	・女性、0歳、無症状病原体保有者

※ 感染経路、感染原因、感染地域については、確定あるいは推定として記載されていたものを表示。

〔2019年1類～5類全数把握感染症の届出報告数の累計〕

感染症の分類	疾患	累計
1類感染症	エボラ出血熱、クリミア・コンゴ出血熱、痘そう、他	0
2類感染症	急性灰白髄炎	0
2類感染症	結核（潜在性結核感染症を含む）	165（53）[0] [0]【1】
2類感染症	シフテリア	0
2類感染症	重症急性呼吸器症候群（病原体がベータコロナウイルス属 SARS コロナウイルスであるものに限る）	0
2類感染症	中東呼吸器症候群（病原体がベータコロナウイルス属 MERS コロナウイルスであるものに限る）	0
2類感染症	鳥インフルエンザ（H5N1）	0
2類感染症	鳥インフルエンザ（H7N9）	0
3類感染症	コレラ	0
3類感染症	細菌性赤痢	3
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	5（1）
3類感染症	腸チフス	0
3類感染症	パラチフス	1

4 類感染症	E 型肝炎	1
4 類感染症	A 型肝炎	1
4 類感染症	デング熱	1
4 類感染症	レジオネラ症	7
5 類感染症	アメーバ赤痢	4
5 類感染症	ウイルス性肝炎（E 型肝炎及び A 型肝炎を除く）	1
5 類感染症	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	11
5 類感染症	急性弛緩性麻痺	1
5 類感染症	急性脳炎（ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く）	6【1】
5 類感染症	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	7【1】
5 類感染症	後天性免疫不全症候群	19（16）
5 類感染症	侵襲性インフルエンザ菌感染症	7
5 類感染症	侵襲性髄膜炎菌感染症	1
5 類感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	27
5 類感染症	水痘（入院例に限る）	1
5 類感染症	梅毒	56（22）
5 類感染症	播種性クリプトコックス症	2
5 類感染症	百日咳	65
5 類感染症	風しん	11
5 類感染症	麻疹	9

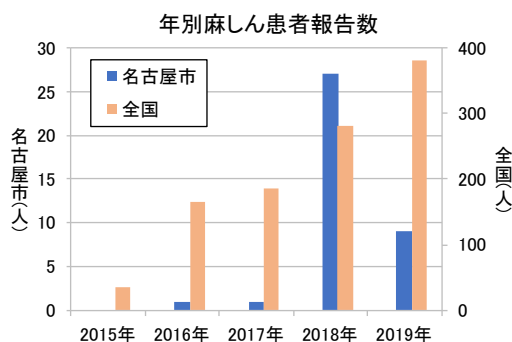
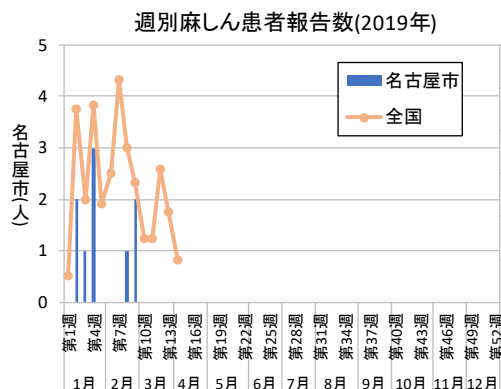
累計は 2018 年第 1 週からの診断週による累計、（ ）内は無症状病原体保有者累計数を再掲、[]内は疑似症累計数を再掲、

【 】内は感染症死亡者の死体累計数を再掲、〔 〕内は感染症死亡疑い者の死体累計数を再掲、〈 〉内は後天性免疫不全症候群の「その他」累計数を再掲。

対象疾患が多いため、4 類及び 5 類感染症は報告のあった疾患のみを掲載。

（報告数はその後の訂正などにより、変更される場合があります）

〔名古屋市の麻しん報告数：2019年4月17日作成〕



週別麻しん患者報告数(2019年)

名古屋市	第2週 (1/7~ 1/13)	第3週 (1/14~ 1/20)	第4週 (1/21~ 1/27)	第8週 (2/18~ 2/24)	第9週 (2/25~ 3/3)	第15週までの 合計(人)
	2	1	3	1	2	9※

※第15週(4月14日)まで 表は患者報告のあった週のみ掲載し、報告が0人の週については省略

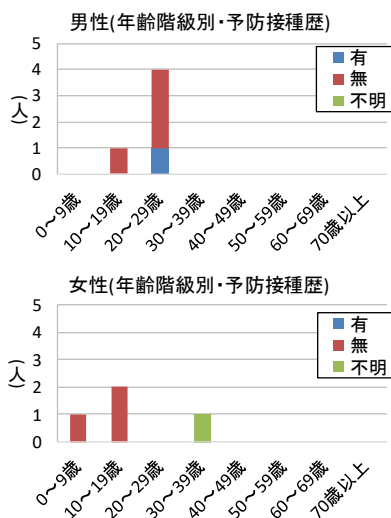
年別麻しん患者報告数

麻しん	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
名古屋市	75	11	6	19	5	1	20	0	1	1	27	9※1
愛知県	197	29	32	32	39	25	46	0	5	1	37	32※2
全国	11013	732	447	439	283	229	462	35	165	186	282	382※3

※1:第15週(4月14日)まで ※2:4月15日時点 ※3:第14週(4月7日)まで

麻しん患者の性別・年齢階級別・予防接種歴(2019年名古屋市)

	年齢階級	予防接種歴			総計(人)
		有	無	不明	
男性	0~9歳				0
	10~19歳			1	1
	20~29歳	1	3		4
	30~39歳				0
	40~49歳				0
	50~59歳				0
	60~69歳				0
	70歳以上				0
計(人)		1	4	0	5
女性	0~9歳			1	1
	10~19歳			2	2
	20~29歳				0
	30~39歳			1	1
	40~49歳				0
	50~59歳				0
	60~69歳				0
	70歳以上				0
計(人)		0	3	1	4
総計(人)		1	7	1	9

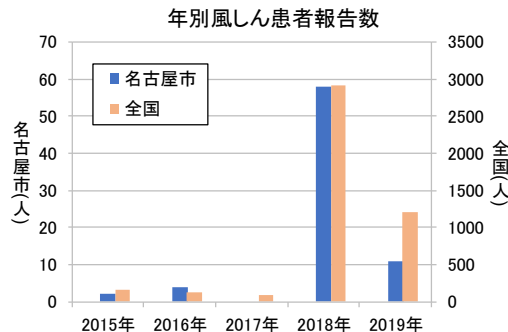
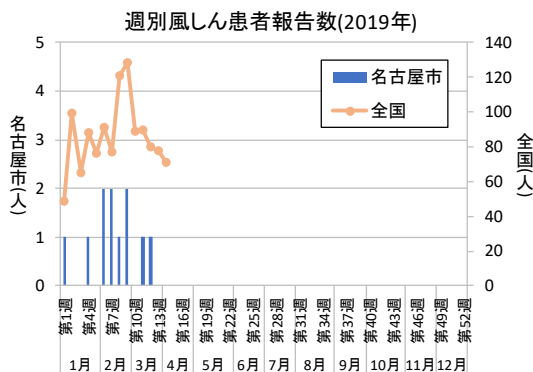


麻しん患者情報(2019年名古屋市)

No.	診断年月日	年齢	性別	予防接種歴	渡航歴	推定感染地域
1	2019.1.8	7歳	女	無	不明	不明
2	2019.1.10	20歳代	男	無	無	国内(三重県)
3	2019.1.19	20歳代	男	無	無	国内(愛知県)
4	2019.1.21	10歳代	女	無	有	フィリピン
5	2019.1.22	10歳代	女	無	有	フィリピン
6	2019.1.25	20歳代	男	有	無	国内(三重県、愛知県)
7	2019.2.20	10歳代	男	無	無	国内(愛知県)
8	2019.3.1	20歳代	男	無	無	国内(愛知県)
9	2019.3.2	30歳代	女	不明	無	国内(愛知県)

(報告数はその後の訂正などにより、変更される場合があります)

〔名古屋市の風しん報告数：2019年4月17日作成〕



週別風しん患者報告数(2019年)

名古屋市	第1週 (12/31～ 1/6)	第4週 (1/21～ 1/27)	第6週 (2/4～ 2/10)	第7週 (2/11～ 2/17)	第8週 (2/18～ 2/24)	第9週 (2/25～ 3/3)	第11週 (3/11～ 3/17)	第12週 (3/18～ 3/24)	第15週までの 合計(人)
		1	1	2	2	1	2	1	

※1:第15週(4月14日)まで 表は患者報告のあった週のみ掲載し、報告が0人の週については省略

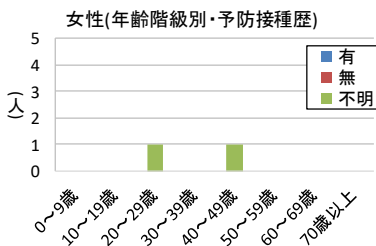
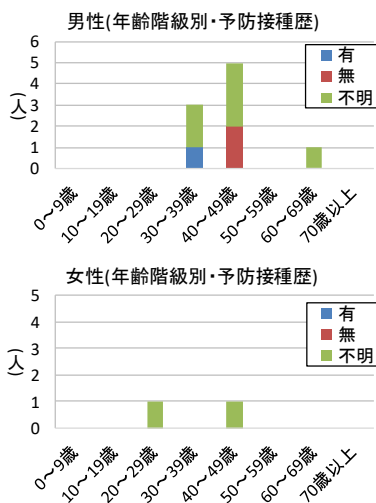
年別風しん患者報告数

風しん	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
名古屋市	1	1	0	7	38	191	7	2	4	0	58	11※1
愛知県	3	10	3	13	97	375	22	13	20	3	119	33※2
全国	303	147	87	378	2386	14344	319	163	126	93	2917	1202※3

※1:第15週(4月14日)まで ※2:4月15日時点 ※3:第14週(4月7日)まで

風しん患者の性別・年齢階級別・予防接種歴(2019年名古屋市)

	年齢階級	予防接種歴			総計(人)
		有	無	不明	
男性	0～9歳				0
	10～19歳				0
	20～29歳				0
	30～39歳	1		2	3
	40～49歳		2	3	5
	50～59歳				0
	60～69歳			1	1
	70歳以上				0
計(人)		1	2	6	9
女性	0～9歳				0
	10～19歳				0
	20～29歳			1	1
	30～39歳				0
	40～49歳			1	1
	50～59歳				0
	60～69歳				0
	70歳以上				0
計(人)		0	0	2	2
総計(人)		1	2	8	11



風しん患者情報(2019年名古屋市)

No	診断年月日	年齢	性別	予防接種歴	渡航歴	推定感染地域
1	2019.1.4	40歳代	男	不明	無	国内(静岡県)
2	2019.1.21	60歳代	男	不明	無	国内(愛知県)
3	2019.2.8	30歳代	男	不明	無	不明
4	2019.2.9	20歳代	女	不明	無	不明
5	2019.2.12	40歳代	男	不明	無	国内(愛知県、東京都)
6	2019.2.15	40歳代	男	不明	無	国内(愛知県)
7	2019.2.23	40歳代	女	不明	無	国内(愛知県、大阪府)
8	2019.3.1	30歳代	男	不明	無	不明
9	2019.3.2	30歳代	男	有	無	国内(大阪府)
10	2019.3.11	40歳代	男	無	無	国内(愛知県、岐阜県)
11	2019.3.18	40歳代	男	無	有	国内(愛知県、兵庫県、大阪府)、オーストラリア

(報告数はその後の訂正などにより、変更される場合があります)

〔愛知県麻しん・風しん患者調査事業について〕

平成 20 年 1 月 1 日から、麻しん・風しんは全数把握対象疾患となりましたが、愛知県内では、感染症法に基づく届出では把握できない情報を得るため、医師会と協力して「愛知県麻しん・風しん患者調査事業」を実施しており、名古屋市も参加しています。調査結果については下記のリンク先（愛知県衛生研究所ホームページの中のコンテンツ <http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/msl/msl.html>）をご覧ください。

〔定点医療機関からの情報〕

定点医療機関からは検査結果や患者発生状況等がコメント情報として報告されています。定点医療機関から報告されたコメント情報は下記のとおりです。なお、コメント情報のなかった定点医療機関については掲載しておりません。

インフルエンザは、A型1名 B型3名	定点医療機関（千種区）
インフルエンザは、B型1名	定点医療機関（千種区）
インフルエンザは、A型1名 ヒトメタニューモウイルス 2名	定点医療機関（千種区）
インフルエンザは、A型2名	定点医療機関（千種区）
インフルエンザA 2名	定点医療機関（東区）
インフルエンザA型1名、B型2名。	定点医療機関（西区）
インフルエンザA型1名・B型2名	定点医療機関（中村区）
インフルエンザB型1名	定点医療機関（中村区）
インフルエンザB型2名	定点医療機関（中村区）

インフルエンザB型：1名	定点医療機関（昭和区）
インフルエンザB型：1名	定点医療機関（昭和区）
インフルエンザB型：1名	定点医療機関（熱田区）
インフルエンザB型：3名	定点医療機関（熱田区）
インフルエンザA型：1名	定点医療機関（熱田区）
インフルエンザA型男性2名 女性2名	定点医療機関（南区）
4歳児のみインフルエンザB型	定点医療機関（守山区）
インフルエンザA型 3名	定点医療機関（守山区）
インフルエンザA型	定点医療機関（緑区）
インフルエンザB型	定点医療機関（緑区）
インフルエンザA型2名 溶連菌感染症が目立つ	定点医療機関（天白区）

◆2019年第15週 患者報告数（疾病別）、定点あたり患者報告数（疾病別）、年齢階層別患者報告数（疾病別）

患者報告数（名古屋市）

2019年第15週（2019年4月8日～4月14日）

疾患 \ 区	千種	東	北	西	中村	中	昭和	瑞穂	熱田	中川	港	南	守山	緑	名東	天白	計	前週比	過去比*
★インフルエンザ	8	4		9	6		2	2	9	4	4	6	13	3		6	76	1.2	0.6
○RSウイルス感染症			2	4	2							5		3			16	0.9	1.8
○咽頭結膜熱	3	1		1						1		3	2		2		13	0.9	1.5
○A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	9	10	2	2	4	1			2	6	1	5	5	8	7	8	70	1.2	1.1
○感染性胃腸炎	29	9	35	44	12	7	4			14	28	9	26	16	22	28	283	1.1	1.5
○水痘	1						1										2	0.2	0.2
○手足口病									1	1		1					3		0.6
○伝染性紅斑	3				1				2			2		1	1	2	12	0.8	1.9
○突発性発疹			1	3	1					1		1	2	1	2	1	13	1.2	0.8
○ヘルパンギーナ										2							2	0.7	
○流行性耳下腺炎				1	1				1						1		4	2.0	0.9
△急性出血性結膜炎																	0		
△流行性角結膜炎																	0	0.0	0.0
◇細菌性髄膜炎																	0		
◇無菌性髄膜炎																	0		0.0
◇マイコプラズマ肺炎							1										1	1.0	1.5
◇クラミジア肺炎																	0		
◇感染性胃腸炎（ロタウイルスに限る）							2										2	1.0	1.0
計	53	24	40	64	27	8	10	2	15	29	33	32	48	32	35	45	497		

*過去3年の同週の平均値との比

★インフルエンザ定点数	5	4	5	4	5	4	5	5	4	4	4	4	5	4	4	4	70		
○小児科定点数	5	4	5	4	5	4	5	5	4	4	4	4	5	4	4	4	70		
△眼科定点数	1		1	1	1		1	1	1			1		1	1	1	11		
◇基幹定点数			1				1			1							3		

★○△◇は定点種別を示す。

セルは、該当疾病の定点医療機関のない区を示す。

定点あたり患者報告数、および流行警報・注意報発生状況（名古屋市）

2019年第15週（2019年4月8日～4月14日）

疾患 \ 区	千種	東	北	西	中村	中	昭和	瑞穂	熱田	中川	港	南	守山	緑	名東	天白	平均	
インフルエンザ	1.6	1.0		2.3	1.2		0.4	0.4	2.3	1.0	1.0	1.5	2.6	0.8		1.5	1.1	
RSウイルス感染症			0.4	1.0	0.4								1.3	0.8			0.2	
咽頭結膜熱	0.6	0.3		0.3						0.3			0.8	0.4		0.5	0.2	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.8	2.5	0.4	0.5	0.8	0.3			0.5	1.5	0.3	1.3	1.0	2.0	1.8	2.0	1.0	
感染性胃腸炎	5.8	2.3	7.0	11.0	2.4	1.8	0.8			3.5	7.0	2.3	5.2	4.0	5.5	7.0	4.0	
水痘	0.2						0.2										0.0	
手足口病									0.3	0.3			0.3				0.0	
伝染性紅斑	0.6				0.2				0.5				0.5		0.3	0.3	0.5	0.2
突発性発疹			0.2	0.8	0.2					0.3		0.3	0.4	0.3	0.5	0.3	0.2	
ヘルパンギーナ										0.5							0.0	
流行性耳下腺炎				0.3	0.2				0.3							0.3	0.1	
急性出血性結膜炎																		
流行性角結膜炎																		

警報対象疾患	流行発生警報		流行発生注意報
	開始基準値	終息基準値	基準値
インフルエンザ	30	10	10
咽頭結膜熱	3	1	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	4	-
感染性胃腸炎	20	12	-
水痘	2	1	1
手足口病	5	2	-
伝染性紅斑	2	1	-
ヘルパンギーナ	6	2	-
流行性耳下腺炎	6	2	3
急性出血性結膜炎	1	0.1	-
流行性角結膜炎	8	4	-

流行警報・注意報について

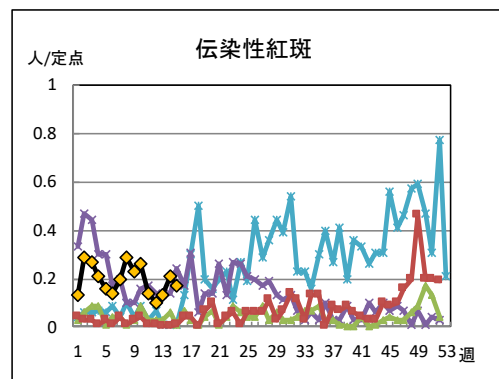
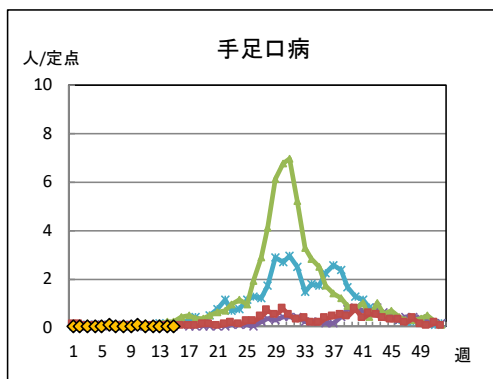
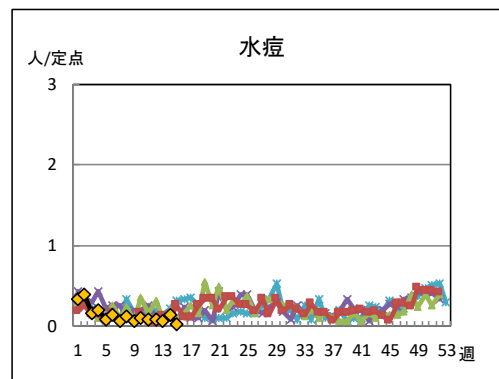
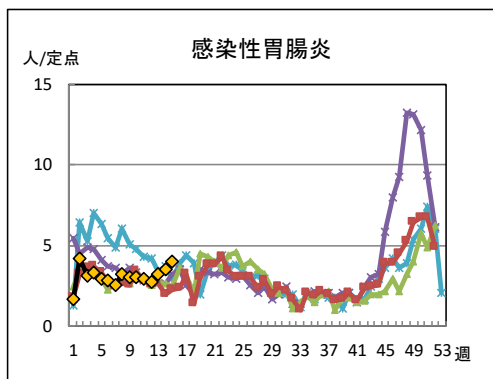
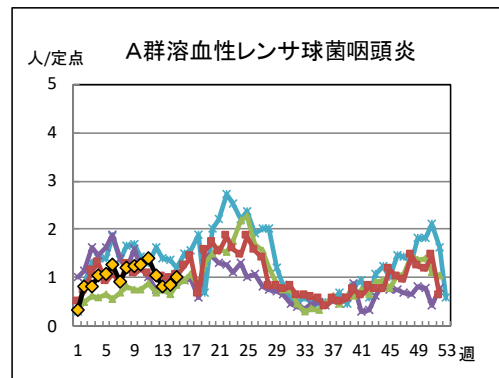
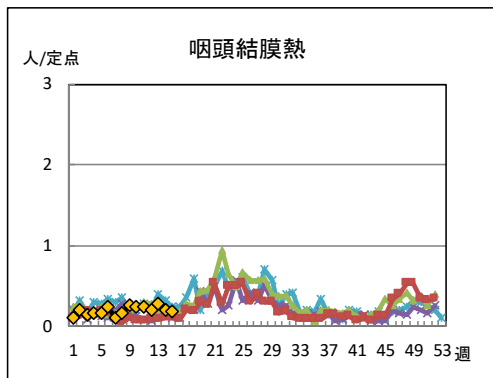
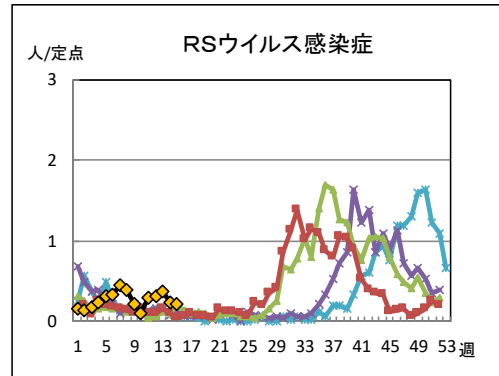
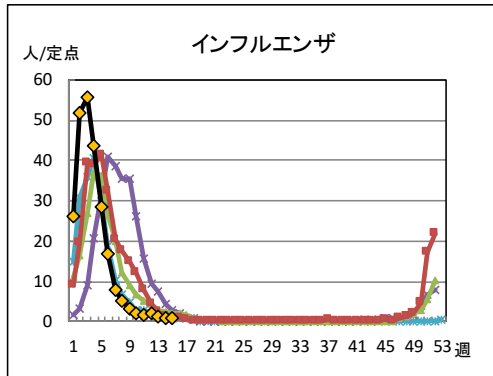
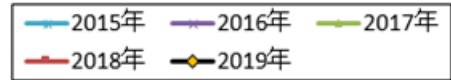
■太字の数字は流行発生警報

■斜体の数字は流行発生注意報

■警報及び注意報の発生は、厚生労働省の感染症発生動向調査における警報発生システムの基準値（左表）に準拠しています。なお基準値は、変更される場合や当センターの判断で、独自の設定に変更する場合があります。

■この警報及び注意報は、感染症発生動向調査に関わる専門家の対策立案を支援するためのものです。詳しい目的、利用法等については当情報センターにご連絡ください。

◆小児科・インフルエンザ・眼科定点医療機関からの
 定点あたり患者報告数の推移グラフ(1) 2019年第15週まで



◆小児科・インフルエンザ・眼科定点医療機関からの
 定点あたり患者報告数の推移グラフ(2) 2019年第15週まで

